

都道府県名	新潟県	授与年度	平成4年度（平成14年更新）	
学校種	高等学校	担当する教科等	聖書	
教授内容	聖書を通して人間の生き方を学ぶ			
教諭の前職等	キリスト教団体 教会副牧師	年齢	62歳	
内容	<p>対象学年 3学年  授業時間数（週コマ数）週6時間</p> <p><b>1. 授与・採用経緯等</b></p> <p>当该校はキリスト教団体が設立したプロテスタント系のミッションスクールであり、毎朝の礼拝及び全学年必修科目として「聖書」の授業を行い、聖書を土台にした全人教育を実施している。したがって、聖書に関する深い知識と素養を有する人物が求められた。</p> <p>当人は、昭和53年度より助教諭免許を取得し、宗教主任として当该校に勤務している。入学礼拝等の式典や修養会、毎朝の礼拝の運営や「聖書」の授業を担当し、当该校の全ての教育活動にキリスト教教育理念が反映されるように努め、その実務や人物について校長、教頭から厚い信頼を得ている。</p> <p>特別免許状検定協議会における意見聴取を経て、平成4年4月1日付けで特別免許状の検定授与を行った。</p> <p><b>2. 具体的教授内容・活動実績</b></p> <p>3年生の必修科目「聖書」（1単位）4クラスと選択科目「選択聖書」（2単位）1クラスを担当。聖書（1単位）は「ヨハネ福音書」を中心に講義形式で行っている。選択聖書では、前期は生徒自身で決めたテーマについてレポートを作成し、後期は「自分史」についてのレポートを作成し、発表させている。両者とも、聖書を手がかりに時代や文化を超えた人間の問題について生徒に考えさせ、自分自身を振り返り、より良い生き方を発見することを目指す当该校の「自分探しの学校」に大きく寄与している授業である。教材は「聖書」他である。</p> <p><b>3. 効果・課題</b></p> <p>牧師としてキリスト教（主義）学校の生命線である聖書を教えることに大きな効果がある。毎朝の礼拝行事でも指導的な役割を担っており、生徒が聖書を通して人間の生き方を学ぶ上で非常に有効である。特別免許状制度の意味は大きいと考えている。課題は特にない。</p> <p><b>4. その他</b></p> <p>平成14年に特別免許状の更新を行っている。</p>			